

～11月のSNSより～

11月11日

収穫の秋。道路を挟んだ畑では農家の方が朝早くから落花生の脱穀作業を勤しんでおられます。

立冬が過ぎ日の沈むのが一日ずつ早まり

夕方の移動やお帰りは急ぎ足になりがちです。

そんな時こそ安全確認も含め立ち止まると普段は

見えない風景や発見があるかも知れませんね。



三毛猫母さん

秋雨振りしきる朝、同じ区内で仔猫が事故死したという連絡を受けお迎えに伺いました。

訪問先は田園広がる農業に従事されている方で車庫を兼ねる納屋の先で一家のお母様と生後3ヶ月とおぼしき3匹の仔猫達が出迎えて下さいました。

農機具が整列されてる奥のエンジンの空箱に今回亡くなった仔猫が離乳食と共に納められ

出迎えてくれた姉妹達は無邪気にそばで物珍しそうに箱を覗いたりかくれんぼをしておりました。

仔猫達の仕草を眺めつつお母様とお話をしてましたら他の用事のある方が来訪し

後を追いつがる仔猫と共に母屋に向きました。

私は一人しばらくの間周囲を見回すと雲の隙間の日差しが

庭の草木の朝露を照らし鶏舎の囲いからは

赤い鶏冠の住人達が主からの食事を首を長くし待っており、

やや視線を下げ垣根を見渡すと仔猫達と色合いが似てる三毛猫が

怪訝そうな感じで距離を置きつつ寄ってきましたが用事が有るのは

私ではなく納屋の奥の親を呼ぶ鳴き声を発しなくなった

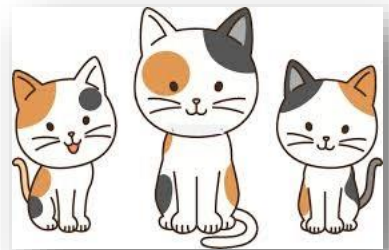
動かぬ仔猫のようでした。

ほどなくしてお母様と仔猫達が納屋に戻り産みの親に

頬擦り甘えておりました。

判で押したような親子の猫の顔を見、お母様は残った仔猫達が無事成長して欲しいと願い

産みの親と共に見送って下さいました。



【お知らせ】

冬期閉園時間について

早めの日没の為、翌年1月中旬まで午後4時の閉園時間とさせていただきます。

